

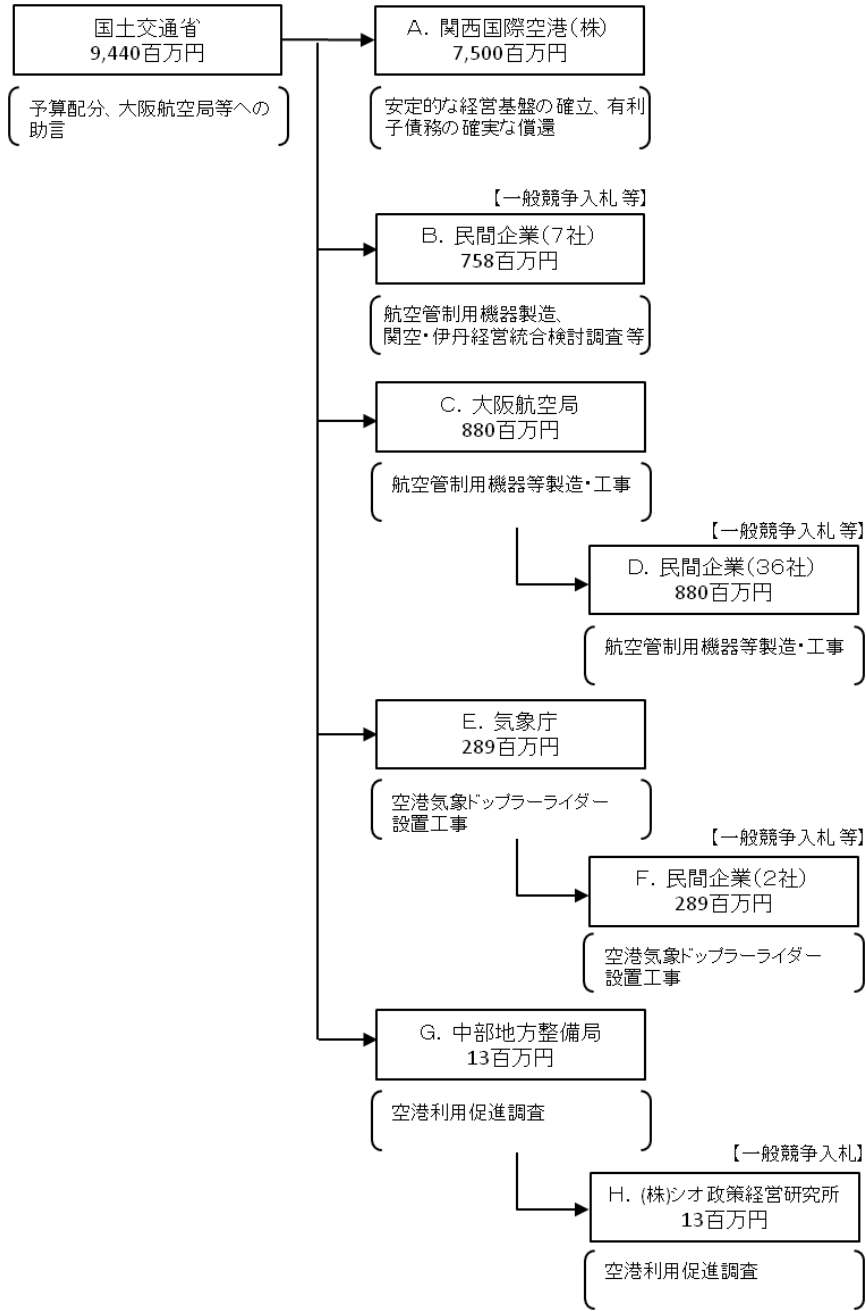
平成23年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	関西・中部国際空港整備事業	担当部局	航空局 航空ネットワーク部	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	関西国際空港：S59 - 中部国際空港：H10 -	担当課室	近畿圏・中部圏空港政策室	参事官(近畿圏・中部圏空港担当) 岡西 康博				
会計区分	社会資本整備事業特別会計(空港整備勘定)	施策名	25 航空交通ネットワークの強化					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	空港法第4条	関係する計画、通知等	中部国際空港の整備について(平成9年12月24日大蔵・運輸大臣間合意) 関西国際空港について(平成14年12月18日財務・国土交通大臣間合意) 関西国際空港二期事業の取扱いについて(平成16年12月18日財務・国土交通大臣間合意) 社会資本整備重点計画(平成21年3月31日閣議決定) 国土交通省成長戦略会議報告(平成22年5月17日)、政府新成長戦略(平成22年6月18日)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国を代表する国際拠点空港である関西国際空港・中部国際空港については、安全安心、国際競争力の強化を図ることが重要である。航空保安施設等の整備を行い、航空の安全運航を図るとともに、関西国際空港については、巨額の負債が会社経営を圧迫し、需要拡大を阻害する要因となっていることから、伊丹空港との経営統合及びその後早期のコンセッションの実現に向けた環境整備を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	(関西国際空港) ・平成24年度に予定している関空・伊丹の経営統合及びその後早期のコンセッション実現に向けて必要な業務を実施する。 ・関空会社の安定的な経営基盤を確立し、有利子債務の確実な償還を期すため、補給金を交付する。 ・航空保安施設の更新等の実施 等 (中部国際空港) ・航空保安施設の更新等の実施 等							
実施方法	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他			
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	19,940	12,038	9,170	9,097	8,699	
		補正予算	472	-	-	-	-	
		繰越し等	543	266	341	-	-	
		計	19,869	12,304	9,510	9,097	8,699	
	執行額	19,568	12,125	9,440	-	-		
執行率(%)	98.5%	98.5%	99.3%	-	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)	
	関西国際空港株式会社の有利子負債残高(連結)		成果実績	億円	11,175	10,523	10,275	-
			達成度	%	-	-	-	-
	関空・中部における就航率		成果実績	%	94.1(関空) 98.4(中部)	95.7(関空) 98.5(中部)	98.4(関空) 98.6(中部)	-
		達成度	%	-	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	補給金および航空保安施設等の整備に要するコスト(関空)		活動実績 (当初見込み)	百万円	19,541	11,967	9,109	- (8,747)
	航空保安施設等の整備に要するコスト(中部)		活動実績 (当初見込み)	百万円	27	158	331	- (350)
単位当たりコスト	-		算出根拠	本事業の整備は、単年度または複数年度において実施され、全体として機能するものであるため、単位の設定が困難であることから、年間における単位あたりコストの算出はできない。				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	空港整備事業費	1,587	1,199	必要性、緊急性の高い事業に重点化を図ったため、要求額を削減した。				
	空港整備事業調査費	10	-					
	関西国際空港株式会社補給金	7,500	7,500					
計	9,097	8,699						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目・		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		<p>〔活動実績、成果実績〕</p> <p>関空会社の有利子負債残高は、平成19年度末時点において1兆1,200億円(連結ベース)であったのに対し、平成22年度末時点においては1兆275億円(連結ベース)となっており、着実に減少している状況である。また両空港において整備された航空保安施設には十分な機能が確保されている。</p> <p>〔前回の指摘を踏まえた改善点〕</p> <p>本年5月に「関西国際空港及び大阪国際空港の一体的かつ効率的な設置及び管理に関する法律」が成立し、平成24年度に予定されている関空・伊丹の経営統合及びその後早期のコンセッションの実現を図るべく、所要の準備を進めているところ。</p> <p>〔見直しの余地〕</p> <p>関空・伊丹の経営統合及びその後早期のコンセッションの実現を図るべく、早急にその具体化に取り組むこととする。平成24年度予算要求においても、あわせて内容の検討を行う。また、両空港における航空保安施設の更新等については、更新時期の精査等、効率的、効果的な予算の執行に向けた取り組みを検討する。</p>	
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		事業の優先度の更なる精査を行い、関空の国際拠点空港としての機能の再生・強化につながる事業に重点化を図るとともに、両空港の航空保安施設の更新等についても、引き続き更新時期・優先度の精査、事業実施・予算執行の効率化を行い、投資の選択と集中を行うべき。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
		関空・中部両空港の航空保安施設の更新について、更新時期や優先度の精査を行い、緊急性の高い事業に重点化を図ることにより、要求額を削減した。	
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
		<p>事業仕分け第1弾 事業番号1-25 関西国際空港株式会社補給金</p> <p>・評価結果 伊丹を含めた抜本的解決策が得られるまでは政府補給金を凍結</p> <p>・とりまとめコメント 議論の内容は、関西国際空港の廃止、関西国際空港の政府支援の廃止ということではなく、補給金を見直すということである。現在、伊丹空港を含めた抜本的解決策について、国土交通省や関西国際空港の方々を含めて検討しているということであり、当ワーキングとしては、その結論が出るまでは補給金の凍結ということにしたい。</p> <p>事業仕分けの結果、平成22年度予算には、大阪国際空港を含めた抜本的解決策が得られた場合における関空会社への補給金75億円が盛り込まれた。抜本的解決策については、平成22年5月、成長戦略会議において、関空を首都圏空港と並ぶ国際拠点空港として再生するため、伊丹空港を活用しつつ抜本的なバランスシートの改善による積極的強化を図ることがとりまとめられ、6月に補給金75億円の凍結が解除された。</p> <p>平成23年5月に、関西国際空港の我が国の国際拠点空港としての機能の再生・強化及び関空・伊丹の適切かつ有効な活用を通じた関西における航空輸送需要の拡大を図り、我が国の国際競争力の強化及び関西経済の活性化に寄与することを目的とした「関西国際空港及び大阪国際空港の一体的かつ効率的な設置及び管理に関する法律」が成立した。</p>	

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)



A.関西国際空港㈱			E.気象庁		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
補給金	安定的な経営基盤の確立、有利子債務の確実な償還	7,500	事業費	空港気象ドップラーライダー設置	289
計		7,500	計		289
B.三菱電機㈱			F.兼松㈱		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	航空管制用機器等製造	438	事業費	空港気象ドップラーライダー設置	269
計		438	計		269
C.大阪航空局			G.中部地方整備局		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	航空管制用機器等製造・工事	880	事業費	中部国際空港利用促進調査	13
計		880	計		13
D.三菱電機㈱			H.㈱シオ政策経営研究所		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	航空管制用機器等製造・工事	483	事業費	中部国際空港利用促進調査	13
計		483	計		13

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A. 関西国際空港(株)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	関西国際空港(株)	関西国際空港株式会社補給金	7,500	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B. 民間企業(7社)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱電機(株)	ターミナルレーダー情報処理システム(ARTS)製造等	438	1	93.61%
2	沖電気工業(株)	通信制御装置製造等	160	1	98.36%
3	日本電気(株)	運用・信頼性管理システム製造等	132	1	97.37%
4	有限責任監査法人トーマツ	関西及び伊丹空港の経営統合に係る業務システム導入のための調査	18	4.67	51.83%
5	明星電気(株)	気象情報受信装置製造等	5	1	98.31%
6	日興電気通信(株)	航空安全推進ネットワークの新規要件に係るソフトウェア機能向上等	4	1	96.22%
7	日本無線(株)	無線電話受信装置部品購入等	1	1	99.89%
8					
9					
10					

C. 大阪航空局

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	民間企業(36社)	航空管制用機器等製造・購入	880	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D. 民間企業(36社)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱電機(株)関西支社	関西国際空港マルチラテレーション装置製造等	483	2	88.92%
2	関西国際空港(株)	関西国際空港期進入灯施設における設備更新に関する工事等委託等	78	随意契約	100%
3	沖電気工業(株)	中部国際空港CCS改修等	48	1	99.21%
4	サンワコムシステムエンジニアリング(株)	関西ターミナルレーダー管制施設整備	42	3	96.39%
5	森建設(株)	関西国際空港庁舎改修	32	5	64.00%
6	(株)コミュ・チュア	中部システム運用管理センター整備	32	3	91.42%
7	ダイダン(株)大阪本社	関西国際空港庁舎空調設備改修	30	3	95.58%
8	(株)東電通	関西国際空港ARTS増設等	25	2	92.47%
9	(株)東芝	中部国際空港マルチラテレーション装置一式製造	23	2	59.50%
10	(株)リパフィー通研	関西国際空港シミュレーター装置増設等	18	2	98.04%

E. 気象庁

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	民間企業(2社)	空港気象ドップラーライダー設置	289	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

F. 民間企業(2社)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	兼松㈱	空港気象ドップラーライダーの製作及び取付調整	269	1	99.83%
2	三菱電機㈱	空港気象ドップラーライダーの機能強化	20	1	94.69%
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

G. 中部地方整備局

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)シオ政策経営研究所	中部国際空港利用促進調査	13	-	79.98%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

H. (株)シオ政策経営研究所

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)シオ政策経営研究所	中部国際空港利用促進調査	13	2	79.98%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					